

令和8年度 年間指導計画（評価計画） 国語 7年

1 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨
① 知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解しようとしたりする態度を育てる。
② 思考・判断・表現	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を育てる。

2 年間指導計画

月	学習事項（指導内容）	時数	観点	評価規準	評価方法
4	朝のリレー	2	① ③	【知・技】 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) 【主】 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
	言葉に出会うために 声を届ける 野原はうたう 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう	3	① ② ③	【知・技】 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) 【主】 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 【知・技】 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ) 【思・判・表】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【主】 進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	1 学びをひらく はじまりの風	3	① ② ③	【知・技】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) 【主】 場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
	1 学びをひらく 季節のしおり 春	1	① ③	【知・技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【主】 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	・教師の観察 ・単元テスト ・定期考査
	1 学びをひらく 【聞く】 情報を聞き取り、要点を伝える	1	① ③	【知・技】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート

				【主】 聞き取った情報を進んで整理し、学習課題に沿って、要点を伝えようとしている。	
	1 学びをひらく 言葉1 音声の仕組みや働き	1	① ③	【知・技】 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) 【主】 声の出し方による伝わり方の違いを、試行錯誤しながら確認し、それらを生かして音声の働きや仕組みについて理解を深めようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	1 学びをひらく 話の構成を工夫しよう	4	① ② ③	【知・技】 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) 【主】 話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
	1 学びをひらく 漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1	1	① ③	【知・技】 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ) 【主】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
5	2 新しい視点で ダイコンは大きな根?	2	① ② ③	【知・技】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) 【主】 文章の中心的部分と付加的部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
	2 新しい視点で ちょっと立ち止まって	3	① ③	【知・技】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) 【主】 進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	2 新しい視点で 情報整理のレッスン 比較・分類	1	① ③	【知・技】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【主】 情報の整理のしかたについて積極的に理解を深め、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査

6	2 新しい視点で 情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く	4	① ② ③	<p>【知・技】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)</p> <p>【主】 集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明する文章を書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・作品 ・定期考査
	2 新しい視点で 言葉2 指示する語句と接続する語句	1	① ③	<p>【知・技】 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ)</p> <p>【主】 今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	3 言葉に立ち止まる 空の詩 三編 [書く] 詩の創作教室	3	① ② ③	<p>【知・技】 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ)</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p> <p>【主】 詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
7	3 言葉に立ち止まる 言葉3 さまざまな表現技法	1	① ③	<p>【知・技】 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ)</p> <p>【主】 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、学習課題に沿って、積極的に理解を深めようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	3 言葉に立ち止まる 比喩で広がる言葉の世界	2	① ② ③	<p>【知・技】 比喩などの表現の技法を理解し使っている。(1)オ)</p> <p>【思・判・表】 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)</p> <p>【主】 進んで比喩について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	3 言葉に立ち止まる 文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 文法1 言葉の単位	1	① ③	<p>【知・技】 単語の類別について理解している。(1)エ)</p> <p>【主】 今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる言葉の単位について理解しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
	3 言葉に立ち止まる 語彙を豊かに 心情を表す言葉	1	① ③	<p>【知・技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>【主】 今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとして</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査

				いる。	
	情報×SDGs 情報収集の達人になろう コラム 著作権について知ろう	3	① ② ③	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにしてしている。(C(1)オ) <p>【主】</p> <p>引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、今までの学習を生かして収集した情報を基に考えたことを書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
	いつも本はそばに 読書を楽しむ	1	① ③	<p>【知・技】</p> <p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)</p> <p>【主】</p> <p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート
	いつも本はそばに 本の中の中学生	1	① ② ③	<p>【知・技】</p> <p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにしてしている。(C(1)オ)</p> <p>【主】</p> <p>進んで文章を読み、理解したことに基づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート
	いつも本はそばに 季節のしおり 夏		① ③	<p>【知・技】</p> <p>事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>【主】</p> <p>伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	書写 (1学期に8時間程度)	8	① ②	<p>【知・技】 楷書と行書、それに調和する仮名の筆遣いや字形を理解して書いている。</p> <p>【主】 書写の技能を常に意識し、向上心をもって書写活動に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・定期考査 ・作品
9	4 心の動き 大人になれなかった弟たちに……	4	① ② ③	<p>【知・技】</p> <p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)</p> <p>【主】</p> <p>登場人物の心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習したことを生かして朗読しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
	4 心の動き 星の花が降るころに	5	① ② ③	<p>【知・技】</p> <p>比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。(C(1)ウ)</p> <p>【主】</p> <p>進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査

	4 心の動き 項目を立てて書こう 案内文を書く	3	① ② ③	<p>【知・技】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)</p> <p>【主】 必要な情報を積極的に集めて整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・作品 ・定期考査
	4 心の動き [推敲] 読み手の立場に立つ	1	① ② ③	<p>【知・技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>【思・判・表】 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)</p> <p>【主】 粘り強く文章を推敲し、今までの学習を生かして案内文を書き改めようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	4 心の動き 言葉 4 方言と共通語	1	① ③	<p>【知・技】 共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ)</p> <p>【主】 今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	4 心の動き 聞き上手になろう 質問で話を引き出す	2	① ② ③	<p>【知・技】 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア)</p> <p>【思・判・表】 「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)</p> <p>【主】 進んで質問しながら話の内容を捉え、学習したことを生かして話を引き出そうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
10	4 心の動き 漢字 2 漢字の音訓 漢字に親しもう 2	1	① ③	<p>【知・技】 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</p> <p>【主】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	5 筋道を立てて 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	5	① ③	<p>【知・技】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【思・判・表】 「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)</p> <p>【主】 文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
	5 筋道を立てて 思考のレッスン 1 意見と根拠	1	① ② ③	<p>【知・技】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【主】 根拠の客観性や理由づけに無理がないかを積極的に検討し、学習課題に沿って、意見と根拠の関係について理解を深めようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	5 筋道を立てて 根拠を明確にして書こう	5	① ②	<p>【知・技】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用の</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート

	資料を引用して報告する		③	しかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 【主】 根拠を明確に示すことを粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。	・ノート ・単元テスト ・定期考査
	5 筋道を立てて漢字に親しもう3	1	① ③	【知・技】 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ) 【主】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	5 筋道を立てて文法への扉2 言葉の関係を考えよう 文法2 文の組み立て	2	① ③	【知・技】 単語の類別について理解している。(1)エ) 【主】 今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
11	5 筋道を立てて聴きひたる 大阿蘇	1	① ③	【知・技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【主】 進んで言葉の響きやリズムを味わい、語感を磨きながら、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
	5 筋道を立てて季節のしおり 秋	1	① ③	【知・技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【主】 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	6 いにしえの心にふれる古典の世界 音読を楽しむ いろは歌	1	① ③	【知・技】 ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。(3)イ) ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) 【主】 積極的に古文を繰り返して音読し、3年間の学習の見通しをもって、古典の世界に親しもうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	6 いにしえの心にふれる蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から	4	① ② ③	【知・技】 音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしてしている。(C(1)オ) 【主】 進んで古文を音読し、今までの学習を生かして描かれている古典の世界を想像しようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
	6 いにしえの心にふれる今に生きる言葉 【書く】 故事成語を使って体験文を書こう	3	① ② ③	【知・技】 音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしてしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるよう	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査

				に、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 【主】 積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。	
12	7 価値を見いだす 「不便」の価値を見つめ直す [書く] 筆者の主張に対する自分の意見を書こう	4	① ② ③	【知・技】 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしながらか、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【主】 必要な情報に着目して、粘り強く要約し、試行錯誤しながら自分の考えを文章にまとめようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
	7 価値を見いだす 思考のレッスン2 原因と結果	1	① ③	【知・技】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【主】 今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	7 価値を見いだす 漢字に親しもう4	1	① ③	【知・技】 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ) 【主】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	7 価値を見いだす [話し合い(進行)] 進め方について考えよう	1	① ② ③	【知・技】 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) 【主】 進んで話題や展開を捉え、学習課題に沿って、話し合いをよりよく進めるために気をつけることについて、考えをまとめようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	書写 (2学期中に10時間程度)	10	① ③	【知・技】 楷書と行書、それに調和する仮名の筆遣いや字形を理解して書いている。 【主】 書写の技能を常に意識し、向上心をもって書写活動に取り組んでいる。	・教師の観察 ・定期考査 ・作品
1	7 価値を見いだす 季節のしおり 冬	1	① ③	【知・技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【主】 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	7 価値を見いだす 話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、もの見方を広げる	3	① ② ③	【知・技】 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) 【主】	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査

				積極的に互いの発言を結び付けて考え、学習の見通しをもってグループで話し合いをしようとしている。	
	いつも本はそばに 研究の現場によろこそ 四百年のスローライフ はやぶさ2 最強ミッションの真実 読書案内 本の世界を広げよう	1	① ③	【知・技】 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ) 【思・判・表】 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) 【主】 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
2	研究の現場によろこそ 四百年のスローライフ はやぶさ2 最強ミッションの真実	1	② ③ ④	【知・技】 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ) 【思・判・表】 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) 【主】 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	少年の日の思い出 [書く]別の人物の視点から 文章を書き換えよう 漢字に親しもう5	7	① ② ③	【知・技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) 【主】 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えよとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
	文法への扉3 単語の性質を見つけよう 文法3 単語の分類	2	① ③	【知・技】 単語の類別について理解している。((1)エ) 【主】 今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について解しようとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	二十歳になった日	4	① ② ③	【知・技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 【思・判・表】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) 【主】 進んで心情を表す表現とその効果について考え、学習しことを生かして筆者のものの見方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	5	① ② ③	【知・技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になる	・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査

				<p>ように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)</p> <p>・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>【主】 粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもつ随筆を書こうとしている。</p>	
	漢字3 漢字の成り立ち 1時間	1	① ③	<p>【知・技】 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</p> <p>【主】 学習課題に沿って、積極的に漢字の成り立ちについて理しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	一年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する	4	① ② ③	<p>【知・技】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用しかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえなが、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>【主】 集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして点を資料にまとめ、発表しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査
3	ぼくが ここに	2	① ② ③	<p>【知・技】 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。(1)オ)</p> <p>【思・判・表】 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにしてしている。(C(1)オ)</p> <p>【主】 積極的に詩を読み味わって考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・定期考査
	国語の力試し	3	① ② ③	<p>【知・技】 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。(1)オ)</p> <p>・音読に必要な文語のきまりを知り、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)</p> <p>・「読むこと」において、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えなが話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)</p> <p>【主】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の観察 ・ワークシート ・ノート ・単元テスト ・定期考査

				今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。	
書写 (3学期中に2時間程度)	2	① ③	【知・技】楷書と行書、それに調和する仮名の筆遣いや字形を理解して書いている。 【主】書写の技能を常に意識し、向上心をもって書写活動に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の観察 ・ 定期考査 ・ 作品 	